

小千谷市立 総合支援学校 進路だより

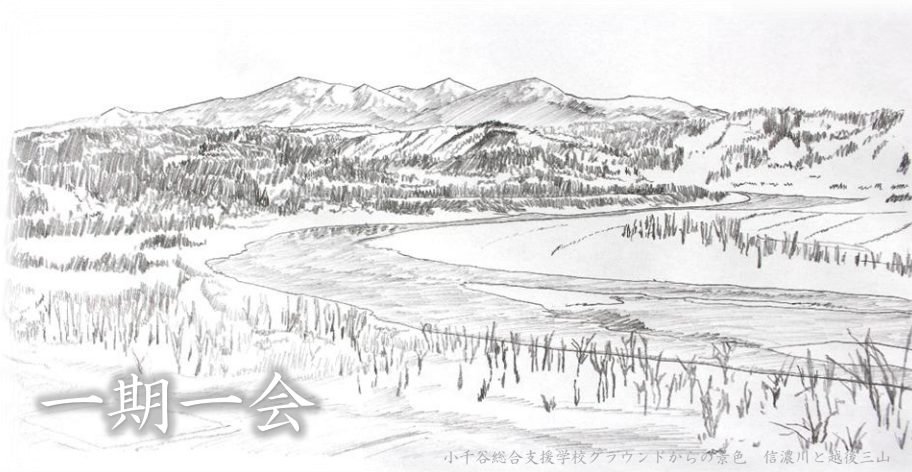
No.5 (R7/12/5)

〒949-8721

小千谷市大字塩殿甲 2144 番地

進路指導部:樋口華子

TEL 0258-82-1878



小千谷総合支援学校グラウンドからの景色 信濃川と越後三山

学習発表会で見られた “キャリア教育”につながる学び



先週は、学習発表会でした。一人一人が自分の役割を理解し、最後までやり遂げようとする姿が多く見られました。練習の段階では不安そうな表情を見せていた児童生徒も、本番では仲間と声を掛け合い、与えられた役割を責任をもって果たすことができました。ご参観いただきありがとうございました。



「キャリア教育」とは？

さて、最近、「キャリア教育」という言葉を耳にする機会が増えているかもしれませんが、定義としては「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」のことです。「社会的・職業的自立」とあるように、キャリア教育の目的は、単に「仕事に就くための準備」をすることだけではありません。家庭や社会の中での自分の役割を果たすこと、自分自身をよく理解し、社会とのつながりを深め、日常生活の中で役立つスキルや考え方を育むことも大切な要素です。



例えば、学習発表会では、自分の得意なことできることを活かし、協力して一つの目標に向かって努力していました。それがキャリア教育における大切な経験、将来の生活や就労につながる学びであると捉えています。道具の準備や片付け、司会やナレーション、動きや演奏など、自分の役割を責任をもって遂行する姿は、職場で求められる「役割理解」「協働」「最後までやり抜く力」に直結する力です。

キャリア教育は、ただ将来の職業に結びつく学びだけではなく、日々の社会生活の中で役立つ力を育てるための教育です。お子さまがこれからの社会で自信をもって過ごせるように、学校でもサポートしていきたいと考えております。ご家庭でもお子さまと一緒に家の仕事を行う等、学校とご家庭とが協力して、その学びを支えていただければと思っています。





進路 あれこれ



11月に高等部の校内・職場実習が終了しました。
今回の実習では、市内を中心に9カ所の事業所様
からご協力いただきました。
保護者アンケートを紹介させていただきます。



保護者アンケート(高等部後期実習)の紹介

Q、今回の実習でお子さんにどんな成長・成果が見られましたか？

- ・気持ちの切り替え、環境の変化にも対応できたこと、仕事に取り組む姿勢にとても成長を感じた。
- ・今回の実習では4日間中、3日間行くことができた。短時間の参加になった日もあったが、休まずに行けてよかった。行きたくない気持ちと行かなければという気持ちの戦いに勝ち、行けた達成感からニコニコだった。
- ・学校の先生と相談し、自分で目標を決めて、自分で準備をした姿を見て成長を感じた。
- ・職場に向かう時間を気にしながら身支度を整える等、朝の支度から夜の消灯まで自分でその時々
の行動ができるようになった。



Q、実習に関して、保護者の立場からのお考えをお聞かせください。

- ・これまでの実習の時よりも落ち着いて仕事ができているので本人も自信がつき、就職に向けての意欲も高まり、方向性が見えてきたように思う。
- ・1週間の実習だったが、2週間続けていくと実習内容など、どう変わるのか見てみたいと思った。次回に期待したい。
- ・会社は人間関係が大事だと思うが、その点で今回の実習ではあたたかく迎えて下さる方々が
多くて安心だった。



Q、今後に向けてのご要望、ご質問、将来の生活や社会についてのお考えをお聞かせください。

- ・就労に必要な体力(8時間労働に耐えられるくらい)がもっとつくといいなと思った。
 - そうですね。仕事を行うためには「安定した心」がとても大切だと思っています。そして、そのためには体力が基盤となります。慣れない所で仕事をする、身も心も疲れますよね。「足が痛いから、もうだめだ」となるか「足は痛いけど、これくらいなら大丈夫」と思えるかは、日頃の生活次第です。学校では、小学部は“運動広場”、中学部高等部は“朝運動”の授業で、運動の時間を確保しています。自宅付近の散歩などもいいですね。でひ、できるところから体を動かす習慣をつけていきましょう。
- ・今後、実習回数も少なくなってきたり、課題を整理し、良い進路を決めることができたらいと思う。
 - 実習の回数は限りがありますので、進路面談等で相談をしながら、3年生の後期まで計画的に進めていただけるとありがたいです。また、毎年1回ですが、PTA環境進路委員会主催の事業所見学があります。小学部の段階からふるってご参加いただき、事業所の雰囲気を感じることをお勧めします。高等部の方は個別での事業所見学も相談させていただきますので、ご希望の方は学校までお知らせください。
- ・親亡き後の生活を親が元気なうちからさせて、できることを沢山増やしてあげたいと思う。
 - 保護者様がお元気で動けるうちに、将来の生活を見据えて、できることを増やしていきたいというお気持ち、とても大切で素晴らしいことだと思います。私たちも、学校生活の中でお子さんが自分の力でできることを少しずつ広げていけるように取り組んでいきます。学校とご家庭で目標を共有しながら、一緒にお子さんの将来に向けた力を育てていけたらと思っています。

